

NY マーケットレポート (2017年6月14日)

NY 市場では、序盤に発表された米消費者物価指数、小売売上高が、前月比でいずれもマイナスとなったことを受けて、ドル売り・円買いが強まり、クロス円も軟調な動きとなった。ドル/円は、4月21日以来の108円台まで下落した。そして、注目されたFOMCでは、予想通り利上げが発表されたが、年内あと1回の利上げ予想が維持されたことから、引き続き緩やかなペースの利上げが意識され、ドルが下落する場面もあった。ただ、時期は明確にできなかったものの、年内にバランスシートの縮小に着手する方針を明らかにしたことを受けて、ドルは値を戻す動きとなった。

2017年6月14日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.18	110.20	109.96
EUR/JPY	123.51	123.58	123.32
GBP/JPY	140.83	140.91	140.19
AUD/JPY	83.29	83.31	82.86
EUR/USD	1.1209	1.1226	1.1207

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.35	110.17
EUR/JPY	123.64	123.47
GBP/JPY	140.83	140.22
AUD/JPY	83.66	83.28
EUR/USD	1.1216	1.1198

* 東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.62	110.32	108.83
EUR/JPY	122.94	123.59	122.77
GBP/JPY	139.77	140.52	139.12
AUD/JPY	83.21	83.64	83.01
NZD/JPY	79.72	79.96	79.44
EUR/USD	1.1215	1.1296	1.1194
AUD/USD	0.7591	0.7635	0.7569

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21374.56	+46.09
S&P500	2437.92	-2.43
NASDAQ	6194.89	-25.48
日経225 (CME)	19850	-65
トロント総合	15170.13	-209.62
ボルサ指数	49291.03	+264.20
ボベスパ指数	61922.93	+93.93

6/15 経済指標スケジュール

10:00	【オーストラリア】6月消費者インフレ期待
10:30	【オーストラリア】5月失業率
10:30	【オーストラリア】5月雇用者数
10:30	【オーストラリア】5月労働参加率
13:00	【日本】5月首都圏新規マンション発売
15:00	【スウェーデン】5月PEC失業率
15:45	【フランス】5月消費者物価指数
16:00	【トルコ】3月失業率
16:15	【スイス】5月生産者輸入価格
16:30	【スイス】政策金利発表
17:30	【英国】5月小売売上高指数
18:00	【欧州】4月貿易収支
20:00	【英国】政策金利発表
20:00	【英国】英中銀 議事録
20:00	【トルコ】政策金利発表
21:30	【米国】6月ニューヨーク連銀製造業景気指数
21:30	【米国】6月フィラデルフィア連銀景況指数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:00	【カナダ】5月中古住宅販売件数
22:15	【米国】5月鉱工業生産
22:15	【米国】5月設備稼働率
23:00	【米国】6月NAHB住宅市場指数
05:00	【米国】4月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1275.90	+7.30
NY 原油	44.73	-1.73
CMEコーン	377.00	-4.00
CBOT 大豆	939.00	+0.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.335%	1.363%
3年債	1.465%	1.502%
5年債	1.719%	1.781%
7年債	1.944%	2.019%
10年債	2.129%	2.209%
30年債	2.772%	2.866%

ドイツ10年債	0.226%	0.266%
英国10年債	0.927%	1.033%

6/15 主要会議・講演・その他予定

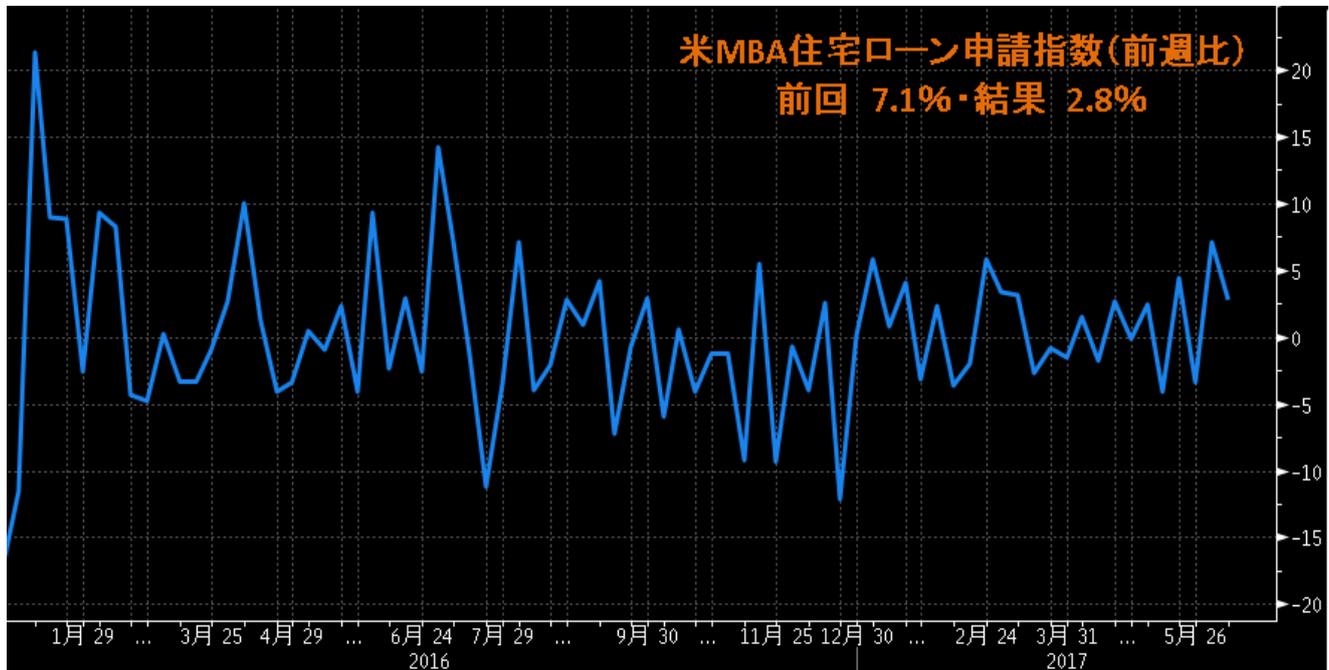
- ・日銀金融政策決定会合 (～16日)
- ・MPC (英中銀金融政策委員会)

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 2.8% (前回 7.1%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	6/9	6/2	5/26	5/19	5/12	前年同期
申請指数	2.8	7.1	-3.4	4.4	-4.1	-12.8
購入	-2.8	10.0	-1.4	-0.8	-2.7	7.2
借換え	9.2	3.4	-5.6	10.5	-5.7	-27.3
固定金利	2.8	7.4	-2.8	4.2	-3.9	-14.8
変動金利	2.1	3.7	-9.3	5.9	-5.8	22.6

固定金利 30 年 ・ 4.13 ・ 4.14 ・ 4.17 ・ 4.17 ・ 4.23

固定金利 15 年 ・ 3.37 ・ 3.39 ・ 3.42 ・ 3.45 ・ 3.51

21 : 30

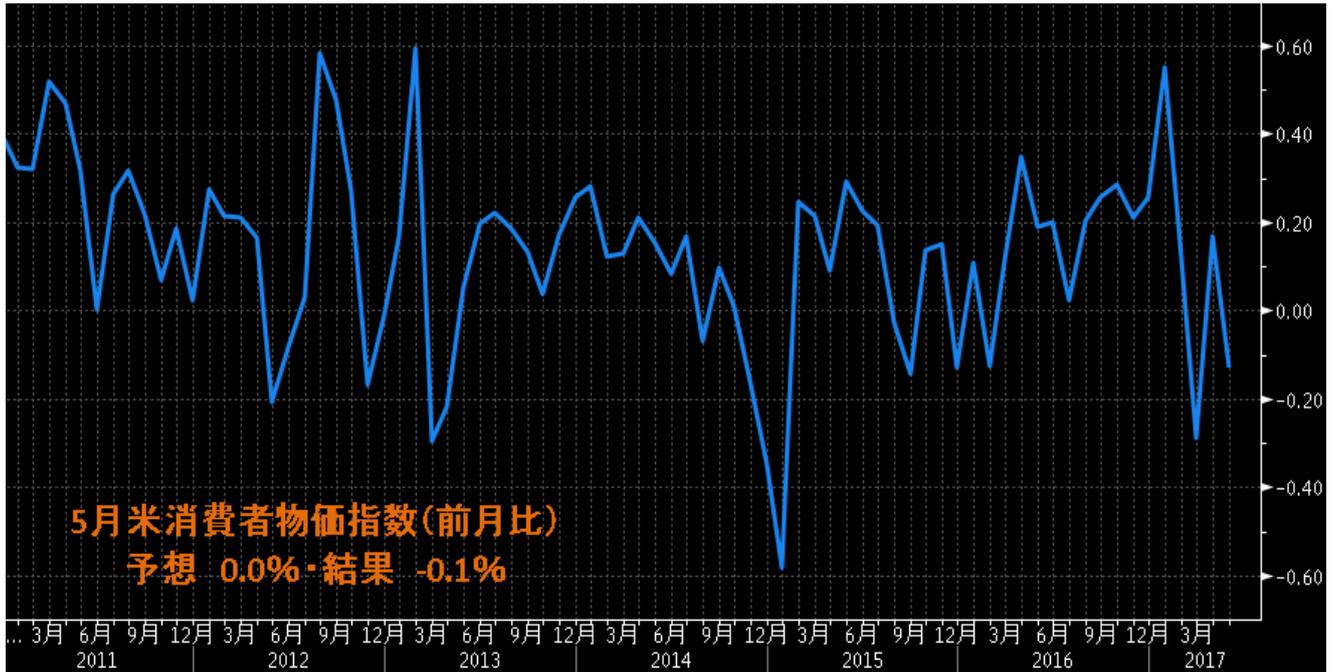
◀ 経済指標の結果 ▶

5月米消費者物価指数 (前月比) -0.1% (予想 0.0%・前回 0.2%)

5月米消費者物価指数[コア] (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.1%)

5月米消費者物価指数 (前年比) 1.9% (予想 2.0%・前回 2.2%)

5月米消費者物価指数[コア] (前年比) 1.7% (予想 1.9%・前回 1.9%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《消費者物価指数》

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
全品目	-0.1	0.2	-0.3	-0.1	-0.6	0.3
除く食品・エネルギー	0.1	0.1	-0.1	0.2	-0.3	0.2
エネルギー	-2.7	1.1	-3.2	-1.0	-4.0	1.2
サービス	0.2	0.2	-0.1	0.3	-0.3	0.3
食品・飲料	0.1	0.2	0.3	0.2	-0.1	0.0
居住費	0.2	0.3	0.1	0.3	-0.3	0.3
医療費	0.0	-0.2	0.1	0.1	-0.2	0.2
娯楽費	0.0	-0.1	0.0	0.6	-0.4	0.0

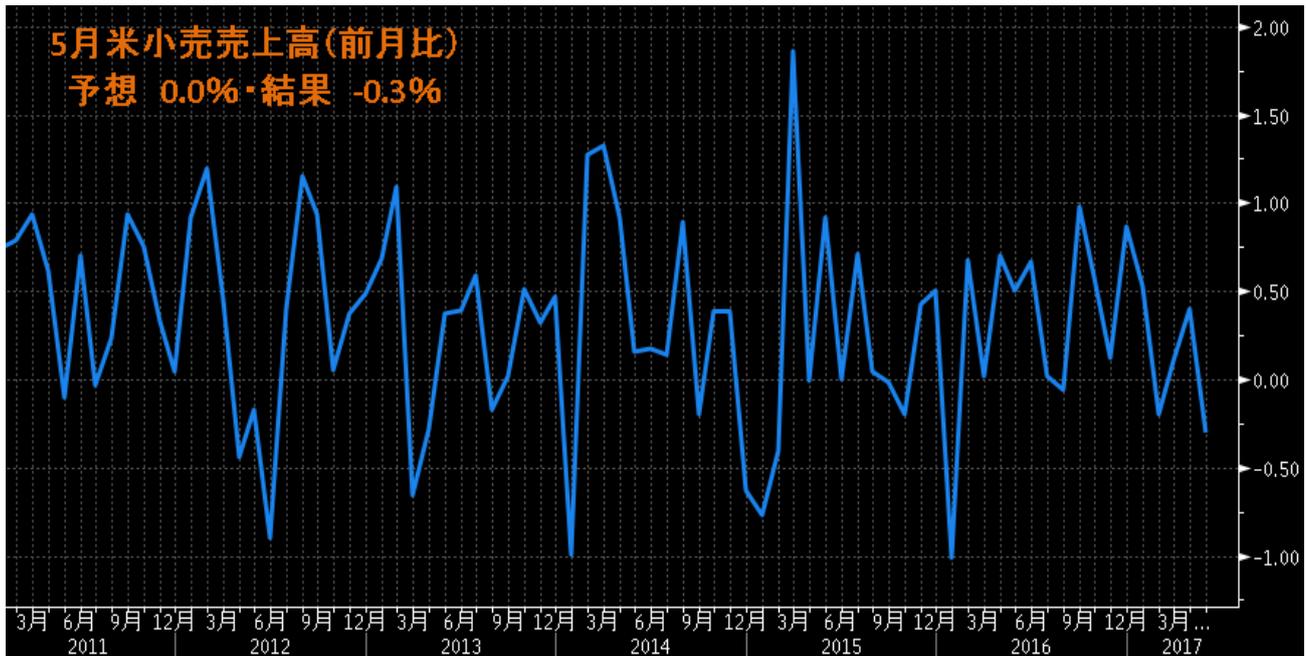
5月の米消費者物価指数は、市場予想を下回る前月比-0.1%となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年比では+1.9%となった。エネルギー価格の大幅下落が影響し、全体を引き下げた。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、市場予想の+0.2%を下回る前月比+0.1%、前年比では+1.7%となった。エネルギー価格は-2.7%となり、ガソリンは-6.4%の大幅下落、食品は+0.2%、食品・エネルギー以外では、自動車新車、中古車ともに-0.2%、住居費は+0.2%となった。

21:30

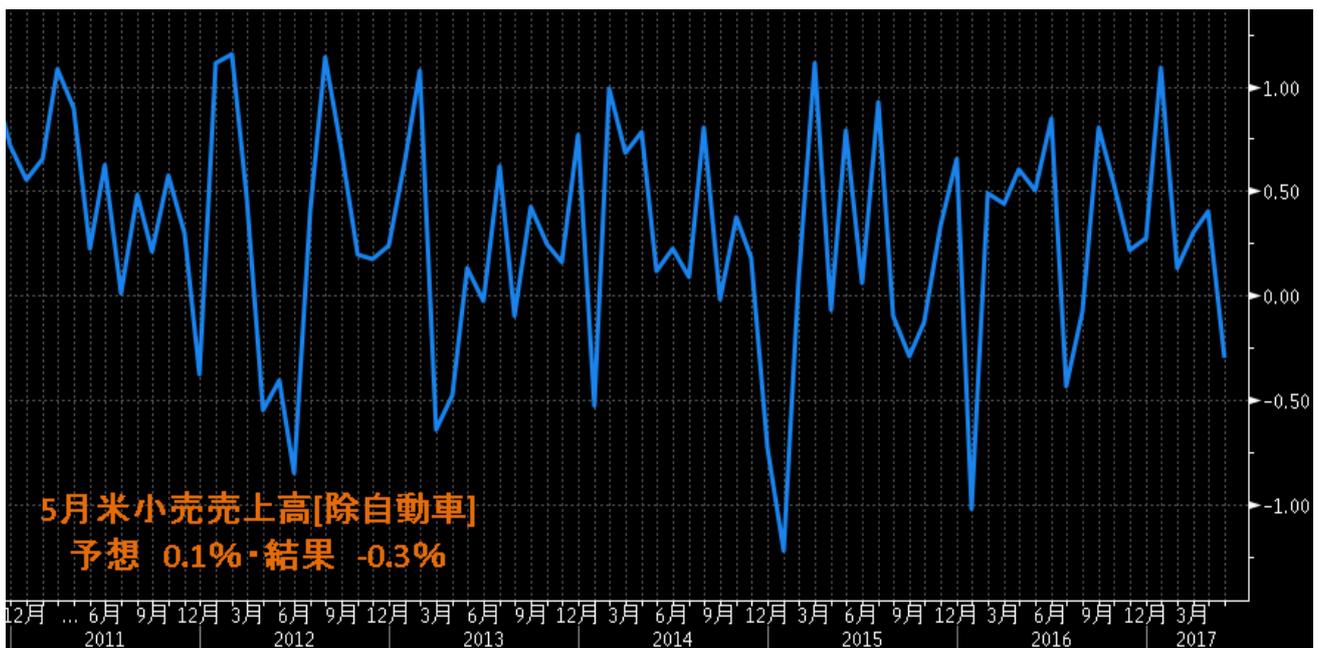
◀ 経済指標の結果 ▶

5月米小売売上高(前月比) -0.3% (予想 0.0%・前回 0.4%)

5月米小売売上高[除自動車] -0.3% (予想 0.1%・前回 0.4%)
 前回発表の0.3%から0.4%に修正



出所: Bloomberg



出所: Bloomberg

指標結果データ

《米小売売上高》

	5月	4月	3月	2月	1月	前年同月
小売売上高	-0.3	-0.4	0.1	-0.2	0.5	5.2
除く自動車	-0.3	-0.4	0.3	0.1	1.1	4.9
自動車・部品	-0.2	-0.5	-0.5	-1.5	-1.6	3.7
建設資材等	0.0	0.6	-1.8	2.7	1.4	10.8
食品・飲料	0.1	-0.2	0.6	0.0	0.7	2.4
総合小売店	-0.3	-0.7	0.1	-0.7	1.4	1.3
大規模小売店	-1.0	0.3	0.3	-0.7	1.1	-3.7
無店舗小売店	0.8	0.9	1.2	0.8	0.3	10.2
その他小売店	-1.3	0.8	0.1	0.5	1.0	3.4

(前月比%)

5月米小売売上高は、市場予想の+0.1%を下回る前月比-0.3%の4738億800万ドルとなり、3ヵ月ぶりにマイナスとなった。前年比は+3.8%となった。品目別では、自動車・同部品が-0.2%、ガソリンスタンドが-2.4%、電子・家電も-2.8%、家具・装飾は+0.4%、食品・飲料は+0.1%だった。変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は-0.3%、前年比は+3.8%だった。



出所 : Net Dania

21 : 30

< 経済指標の結果 >

5月カナダ住宅価格指数（前月比） 2.2%（前回 1.2%）

5月カナダ住宅価格指数（前年比） 13.9%（前回 13.4%）

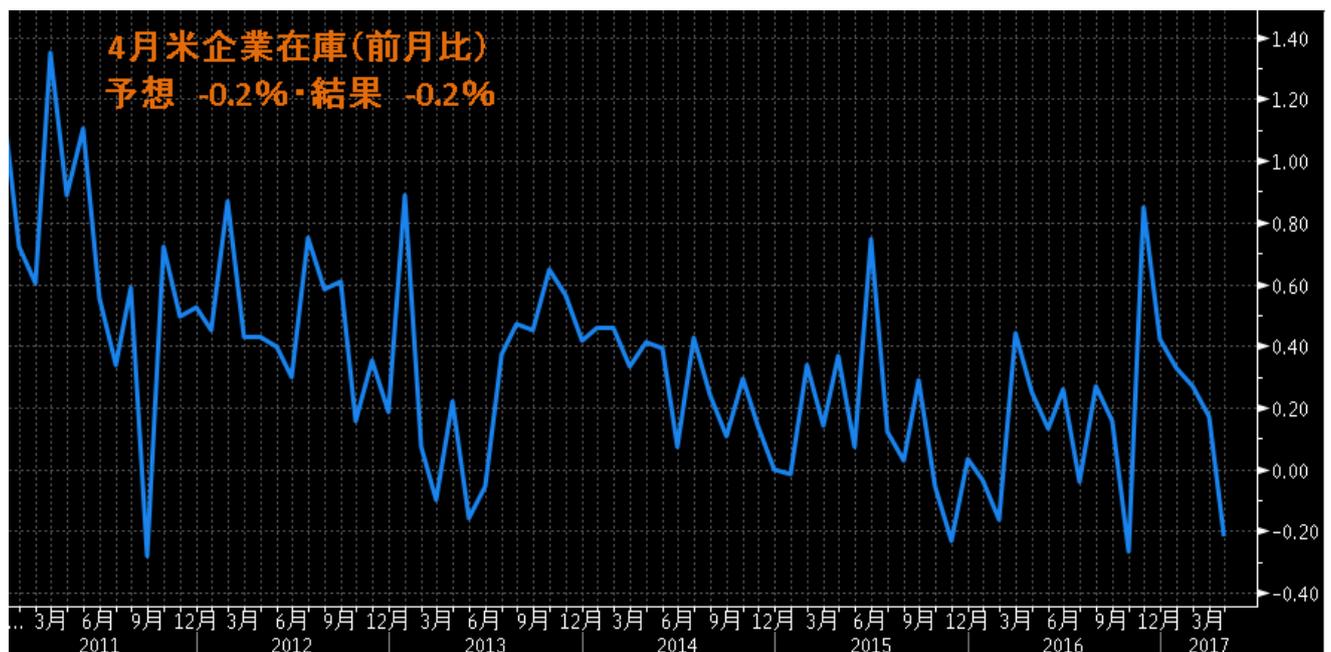


出所 : Bloomberg

23 : 00

< 経済指標の結果 >

4月米企業在庫（前月比） -0.2%（予想 -0.2%・前回 0.2%）



出所 : Bloomberg

指標結果データ

＜米企業在庫＞

	4月	3月	2月	1月	12月	前年同月比
企業在庫	-0.2	-0.2	0.2	0.3	0.3	+2.3
製造業	0.1	0.0	0.2	0.3	0.3	+2.4
小売業	-0.2	-0.2	0.3	0.8	0.0	+3.0
卸売業	-0.5	0.1	0.3	-0.2	0.8	+1.6

	4月	3月	2月	1月	12月	前年同月比
企業売上	0.0	-0.1	0.3	0.3	2.1	+5.6
製造業	0.0	-0.2	0.3	0.1	2.5	+4.7
小売業	0.5	0.1	-0.2	0.4	1.1	+4.8
卸売業	-0.4	-0.2	0.7	0.3	2.4	+7.3

4月の米企業在庫高は、市場予想と一致の前月比-0.2%の1兆8542億2100万ドルとなった。前年比で+2.3%。小売業と卸売業がマイナスとなったことが影響した。小売業が-0.2%、卸売業が-0.5%、製造業は+0.1%だった。自動車・同部品を除く小売業は-0.2%、小売業の内訳は、自動車・同部品が-0.4%、家具・家電が-0.3%、建材・園芸が-0.2%、総合小売りが-0.3%、服飾が-0.6%、食品・飲料は+0.7%となった。

企業売上高は、前月比ほぼ横ばいの1兆3520億4200万ドル、前年比では+5.6%だった。業種別では、小売業が+0.5%、卸売業は-0.4%、製造業は横ばいだった。在庫高は、売上高の1.37ヵ月分に相当し、前月から横ばいだった。

23:30

＜EIA米週間在庫統計＞

原油在庫	166万バレル減少
ガソリン在庫	210万バレル増加
留出油在庫	32.8万バレル増加
クッシングの原油在庫	115.6万バレル減少

＜NY債券市場・午前＞

序盤のニューヨーク債券市場は、米消費者物価指数と小売売上高がともに市場予想を下回ったことをきっかけに米国債の買いが膨らんだ。米長期金利の指標となる10年債利回りは2.10%まで低下し、昨年11月以来約7ヵ月ぶりの低水準となった。

午前の利回りは、30年債が2.77%（前日2.86%）、10年債が2.10%（2.21%）、7年債が1.91%（2.02%）、5年債が1.68%（1.78%）、3年債が1.42%（1.51%）、2年債が1.29%（1.37%）。

＜欧州のポイント＞

①アイスランド中銀は、主要政策金利の預金金利を4.75%から4.50%に引き下げた。観光ブームを背景に進む通貨高に対応した格好で、過去1年足らずで4回目の利下げとなる。中銀は「インフレ率はここ半年の水準をおおむね維持している。ただ、基調インフレはここ数ヵ月軟調になったようだ」との見方を示した。

②イタリア中銀は、今年の国内経済成長率見通しを1.3%とし、従来の1.0%から上方修正した。イタリア中銀は、今月GDP見通しを引き上げていたが、第1四半期のGDPが前期比+0.4%となったことを受けて、再び上方修正した。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、序盤から欧州経済の先行き期待などを背景に、主要株価は堅調な動きとなり、独 DAX 指数は一時、取引時間中の最高値を更新する動きとなった。その後、米経済指標の悪化などもあり、上げ幅を縮小する動きとなった。一方、英 FT100 指数は、原油安も加わり、マイナス圏まで下落した。

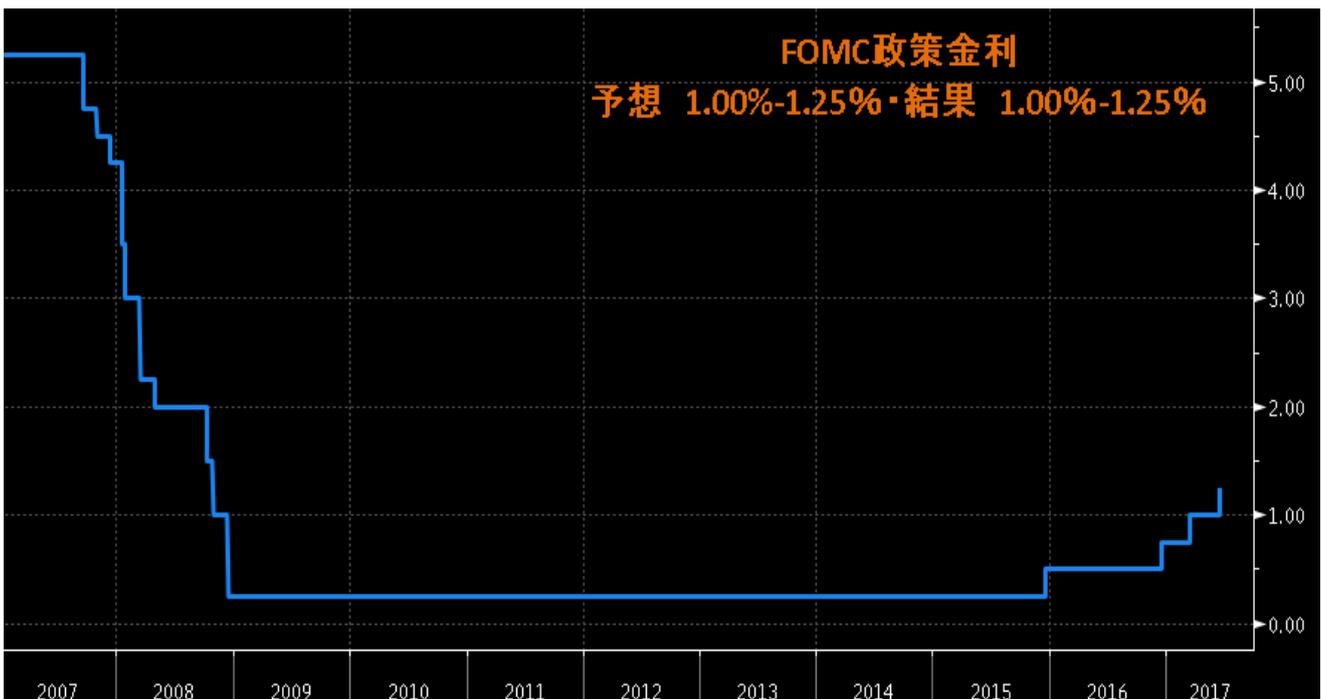


出所：Bloomberg

3 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

FOMC 政策金利 1.00%-1.25% (予想 1.00%-1.25%・前回 0.75%-1.00%)



出所：Bloomberg

3 : 00

FOMC 声明

- ・「FF 金利誘導目標を 1-1.25%に引き上げ」
- ・「保有資産の再投資方針を維持、縮小計画を説明」
- ・「インフレの動向を注視している」
- ・「今年あと 1 回の利上げ予想を維持」
- ・「バランスシートは、今年縮小を始める見通し」
- ・「カシュカリ総裁、金利据え置きを支持し反対票投じた」

保有資産の縮小計画

当初 3 ヶ月は月 100 億ドル（約 1 兆 900 億円）のペースで米国債などの保有額を減らす。3 ヶ月ごとに縮小額を増やす。

3 : 35

◀ 要人発言 ▶

イエレン FRB 議長～定例会見

- ・「コアインフレは小幅に低下した」
- ・「経済は第 1 四半期の減速の後に回復したもよう」
- ・「世界経済成長の加速、今年の米輸出の一助になる」

- ・「雇用の伸びは新規参入の労働力吸収に必要なペースをなお大幅に上回る」
- ・「労働市場はさらに強まる見通し」
- ・「資産縮小の上限設定、金利変動を抑制へ」

- ・「今後数年で緩やか追加利上げが適切となる」
- ・「任期満了まで職務を遂行する意向」

- ・「弱いコアインフレ指標に留意」
- ・「インフレ上昇の環境は整っている」
- ・「一部のインフレ指標に過剰反応しないことが重要」

- ・「インフレに明らかな上昇圧力見られない」
- ・「急速な利上げが必要になるリスクを避ける必要」
- ・「FOMC と市場の期待に差があるのは不健全ではない」
- ・「保有資産の縮小、比較的早期の実行があり得る」

- ・「バランスシート政策、市場が準備できるように事前に知らせる意向」
- ・「バランスシート縮小開始時期は決定していない」
- ・「バランスシート縮小、比較的早期に開始する可能性」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 7.30 ドル高の 1 オンス=1275.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米小売売上高や消費者物価指数が市場予想を下回ったことでドル安が進み、ドルの代替資産とされる金に買いが入った。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.73 ドル安の 1 バレル=44.73 ドルで取引を終了した。

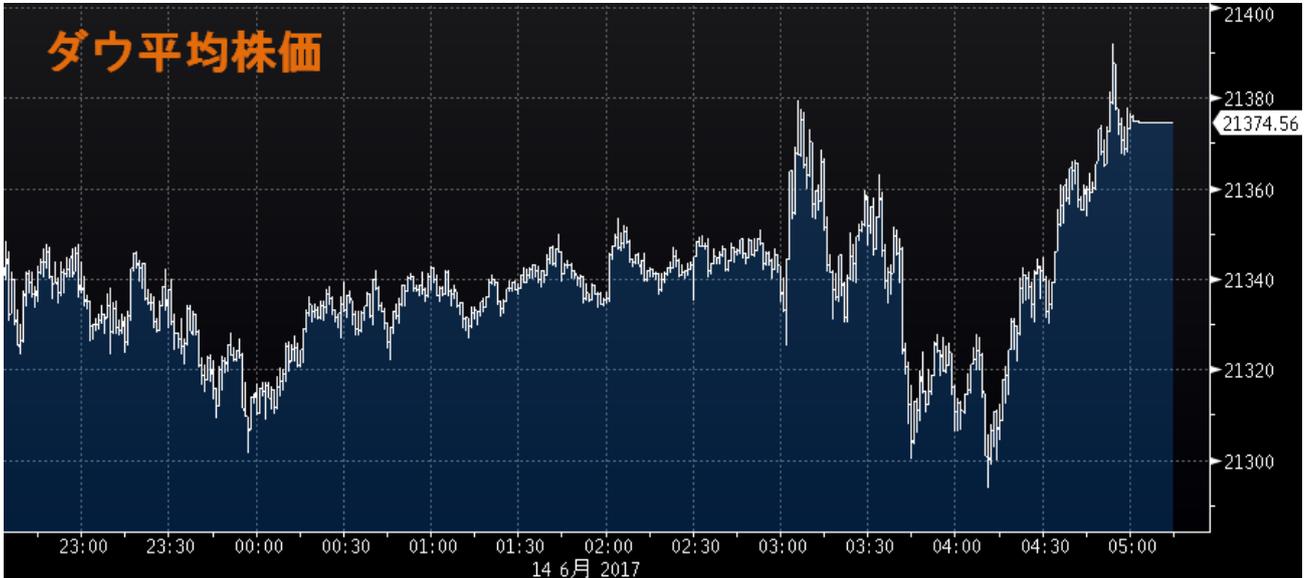
NY 原油は、米石油在庫統計で、原油在庫が市場の予想ほど減らなかったことから供給過剰への懸念が強まり、売りが優勢となった。終値ベースでは、昨年 11 月 14 日以来 7 ヶ月ぶりの安値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、前日に IT 株が持ち直したことが引き続き好感され、主要株価は堅調な動きとなる場面もあった。ただ、米 FOMC の結果発表を控えて様子見ムードも強く、限定的な動きが続いた。FOMC で利上げが発表されたことからマイナス圏に下落したものの、資産縮小などが好感され、終盤に下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が軒並み悪化したことを受けて、ドル売り・円買いが強まり、クロス円も軟調な動きとなった。その後は、米 FOMC で利上げが決定されたものの、緩やかな利上げペースが示されたことからドルが下落する場面もあったが、資産縮小の方針が示されたことを受けて、ドルが上昇に転じた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。